

## ② 色素沈着・色素斑

手掌、足底にびまん性に褐色の色素沈着を生じ、関節背面や爪周囲にも色素沈着を伴うことが多い。また、指腹～手掌、足底に直径 1cm 程度までの淡褐色から灰褐色の色素斑が散在性にみられることもある。



図12

グレード2		図12
薬 剤	カペシタビン	
疾 患	大腸がん	
所 見	びまん性に褐色調の色素沈着が認められ、軽度の紅斑を伴う。色素沈着はとくに皺の部分で濃い。疼痛がありグレード2と判定。	

## ③ 過角化（角質増生）・落屑・亀裂

手掌、足底の角層が肥厚し、表面が硬く触れるようになる。角層が一部剥離して、落屑を生じることも多い。指尖、踵などの物理的刺激を受けやすい部位に目立つ傾向がある。指尖、踵などの過角化部や指関節屈曲部などの皮膚表面にしばしば亀裂を生じ、疼痛を伴う。



図13



図14

グレード2		図13
薬 剤	カペシタビン	
疾 患	乳がん	
所 見	足底に紅斑と過角化が目立ち、亀裂を伴う。疼痛を訴えるが、歩行は可能。	

グレード2		図14
薬 剤	ソラフェニブ	
疾 患	腎細胞がん	
所 見	足底にびまん性の紅斑が認められ、踵など外的刺激を受けやすい部位に過角化ないし表皮下水疱の初期像をうかがわす黄白色調皮疹がみられる。土踏まず部で病勢がやや弱い。疼痛がありグレード2と判定。	

写真提供: Dr. Caroline Robert, Head of the Dermatology Unit, Institute Gustave Roussy